

2019年9月18日

各 位

株式会社 第四銀行

東邦銀行との基幹系システム共同化に関する基本合意について  
～「TSUBASAアライアンス」連携施策～

第四銀行（頭取：並木 富士雄）では、千葉銀行（頭取：佐久間 英利）、中国銀行（頭取：加藤 貞則）、北洋銀行（頭取：安田 光春）およびシステムベンダーの日本アイ・ビー・エム（代表取締役社長：山口 明夫）とともに、2019年9月18日（水）に東邦銀行（頭取：北村 清士）と基幹系システムを共同化<sup>※1</sup>することに基本合意しました。

当行、千葉銀行、中国銀行の3行は、既にシステムの共同化を完了しており、昨年7月に基本合意した北洋銀行は2022年度の稼働を予定しています。東邦銀行は2018年3月より、関係各行・各社とシステムの開発内容や共同化によるコスト負担方式などの検討を進め、今般の基本合意に至ったものです。

基幹系システムの共同化行が5行に広がったことで、「スケールメリットによるコスト削減」「商品開発・サービス提供のスピードアップ」「システム人材の育成」など、共同化のさらなる効果が期待できます。

今後は、2023年度に予定する東邦銀行のシステム稼働に向け、各種機能の開発に關係各行・各社が協力して取り組んでいくとともに、システム共同化で得られた知見をほかの「TSUBASAアライアンス」<sup>※2</sup>参加行とも共有していくことで、「TSUBASAアライアンス」のさらなる価値向上を目指してまいります。

【基幹系システム共同化の流れ】

年 月	内 容
2012年10月	第四銀行、千葉銀行、中国銀行が基幹系システムの共同化に基本合意
2016年1月	千葉銀行が「TSUBASA基幹系システム」の稼働を開始
2017年1月	第四銀行が「TSUBASA基幹系システム」の稼働を開始
2017年5月	中国銀行が「TSUBASA基幹系システム」の稼働を開始 北洋銀行が基幹系システムの共同化に向けた本格的検討を開始
2018年3月	東邦銀行が基幹系システムの共同化に向けた本格的検討を開始
2018年7月	北洋銀行が基幹系システムの共同化に基本合意
2019年9月	東邦銀行が基幹系システムの共同化に基本合意

※1 第四銀行、千葉銀行、中国銀行および日本アイ・ビー・エムが共同で開発した「TSUBASA基幹系システム」を利用し、各種機能の開発や運用・保守を共同で行う。

※2 第四銀行、北越銀行、千葉銀行、中国銀行、伊予銀行、東邦銀行、北洋銀行、武蔵野銀行、滋賀銀行の9行が参加する地銀広域連携の枠組み。

以 上

<本件に関するお問い合わせ先>

総合企画部 田村

電話：025-229-8121（内線4015）

